

新規採用医薬品・削除医薬品等について

2022年9月15日

2022年9月14日（水）に開催された2022年度 第2回薬事委員会において、新たに採用が承認された医薬品3品目、採用削除が決定した医薬品3品目、院外採用医薬品として採用が決定した2品目、採用区分切り替えが決定した医薬品11品目、製造・販売中止等に伴う削除医薬品3品目、後発医薬品への切り替え11品目は、以下のとおりです。なお、新規採用医薬品の詳細については各自添付文書にてご確認ください。

1 新規採用医薬品について

以下3品目が新たに採用されました。

No.	申請科	医薬品名	薬効群(成分名)	薬価	特徴その他
1	形成外科	オンダンセトロン注 4mgシリンジ「マルイシ」 2ml	5-HT3 受容体拮抗 型制吐剤 (オダナセトロン)	3486 円筒	術後疼痛管理目的に使用されるフェンタニルの副作用である嘔気・嘔吐に対する不安が強い患者に対し、今後使用する可能性が高く、小児に対する適応が通ったため採用。
2	血液腫瘍科	ヌーイック静注用 ① 250単位 ② 500単位 ③ 1000単位	第Ⅷ因子製剤 (シモトアルファ)	① 22543 ② 41865 ③ 77750 円/V	現在アドバイド使用中の患者において、本剤へ切り替え希望のため採用。本剤は取り扱い卸がススケンのためキュービックス対応ができ、不動在庫がなくなるため、医薬品管理としても変更。
3	産科	フェインジェクト静注 500mg	鉄欠乏貧血治療剤 (カルボキマルト-第2鉄)	5969 円/V	現在、鉄剤の内服困難症例にはフェジン静注を使用しているが、連日投与の必要があり、外来通院患者などは十分な鉄の補充が難しい場合が多い。本剤は週1回投与であり、患者の通院の負担軽減となり、効率的・効果的な鉄補充が可能になるため採用。 基本的に成人適応であるため、産科、成育女性科のみの限定採用とする。

2 削除医薬品について

以下3品目について採用削除が決定しました。

	医薬品名	薬効群(成分名)	薬価	参考事項	切り替え状況 (9/15現在)
1	エルカルチン FF 静注1000mg シリンジ	レボカルニチン製剤 (レボ カニチ)	969 円/筒	後発医薬品へ変更 (今年度発売)	在庫なし
2	ロセフィン静注用 0.5g	セフェム系抗生物質 (セフトリアキ)	343 円/V	在庫の期限切れに伴い削除 1g 製剤で対応	在庫なし
3	ノイトロジン注 ① 50μg ② 100μg ③ 250μg	遺伝子組み換え G-CSF 製剤 (ノグ ラスチム)	① 2990 ② 5204 ③ 12524 円 /V	フィルグラスチム BS 注で対応	在庫なし

3 院外専用医薬品について

以2品目について院外専用医薬品として採用されました。

No.	診療科	医薬品名	薬効群 (成分名)	申請理由	薬価	削除 医薬品
1	アレルギー科	モイゼルト軟膏 ① 0.3% ② 1%	アトピー性皮膚炎治療剤 (ビファミスト)	非ステロイドの新規アトピー性皮膚炎治療外用剤であり、代替品がないが院外での採用。2歳以上で使用。	① 142 ② 152.1円 /g	

2	総合小児科	ツムラ半夏白朮天麻湯エキース顆粒	漢方製剤	頭痛を伴う起立性調節障害への治療として使用するため (頭痛外来開設に伴う)	23,4円/g	
---	-------	------------------	------	--	---------	--

4 採用区分変更医薬品について

以下11品目が採用区分変更医薬品として採用されました。

No.	診療科	医薬品名	薬効群 (成分名)	申請理由	変更後	変更前区分
1	薬剤部	ミノマイシン顆粒2%	抗生物質	現在正式採用医薬品であるが、2年間使用実績がなく当院在庫も期限切れとなったため、事前連絡医薬品へ採用切り替えとする。	事前連絡医薬品	正式採用医薬品
2	薬剤部	エンレスト錠50mg	ARNI (サレトリアルカルク)	現在正式採用医薬品であるが、2年間使用実績がなく当院在庫も期限切れとなったため、事前連絡医薬品へ採用切り替えとする。	事前連絡医薬品	正式採用医薬品
3	薬剤部	メソトレキセート錠2.5mg	葉酸代謝拮抗剤 (メソトレート)	現在正式採用医薬品であるが、2年間使用実績がなく当院在庫も期限切れとなったため、事前連絡医薬品へ採用切り替えとする。	事前連絡医薬品	正式採用医薬品
4	薬剤部	ミリステープ5mg	経皮吸収型心疾患治療剤 (ニトグリリ)	現在正式採用医薬品であるが、2年間使用実績がなく当院在庫も期限切れとなったため、事前連絡医薬品へ採用切り替えとする。	事前連絡医薬品	正式採用医薬品
5	薬剤部	フスコデ配合錠	鎮咳薬	現在正式採用医薬品であるが、2年間使用実績がなく当院在庫も期限切れとなったため、事前連絡医薬品へ採用切り替えとする。	事前連絡医薬品	正式採用医薬品

6	薬剤部	インチュニブ錠3mg	選択的 $\alpha 2$ A アドレナリン受容体作動薬 (グアファック)	現在正式採用医薬品であるが、2年間使用実績がなく当院在庫も期限切れとなったため、事前連絡医薬品へ採用切り替えとする。	事前連絡医薬品	正式採用医薬品
7	薬剤部	タケキャブ錠10mg	PPI (ホクザン)	当院の正式採用医薬品のPPI製剤であるランソプラゾールOD錠の全ロット回収に伴い、出荷も停止になるため患者限定医薬品で採用しているタケキャブ錠を正式採用医薬品へ切り替えとする。 (タケキャブ錠は、粉碎可能)	正式採用医薬品	患者限定医薬品
8	薬剤部	ロミプレート皮下注250 μ g調製用	トロンボボエチン受容体作動薬 (ロミプラシム)	現在正式採用医薬品であるが、今年の12月で期限切れとなり冷所医薬品であるため不動在庫軽減のため採用区分を患者限定医薬品へ切り替えとする。	患者限定医薬品	正式採用医薬品
9	薬剤部	レボレード錠12.5mg 25mg	経口造血刺激剤 (エルトロホパク)	ロミプレート皮下注の使用頻度が低く患者限定医薬品へ切り替えにすることで、内服できる造血刺激剤である本剤の使用頻度が上がるため事前連絡医薬品へ切り替えとする。	事前連絡医薬品	患者限定医薬品
10	薬剤部	パルミコート吸入液0.25mg 2ml	吸入ステロイド喘息治療剤 (ブデゾニド)	現在正式採用医薬品であるが、2年間入院での使用実績がなく当院在庫も期限切れとなったため、事前連絡医薬品へ採用切り替えとする。	事前連絡医薬品	正式採用医薬品
11	小児外科	ツムラ黄耆建中湯エキス顆粒	漢方製剤	現在患者限定医薬品であるが、使用患者増加のため事前連絡医薬品へ採用切り替えをしたい。	事前連絡医薬品	患者限定医薬品

5 製造・販売中止の医薬品について

既採用医薬品の製造・販売中止等に伴い以下3品目は順次削除となります。

No.	販売中止医薬品名	薬効群	製造・販売中止理由	備考
1	オキシブチニン塩酸塩錠2mg「日医工」	尿失禁・頻尿治療剤 (オキシブチン)	諸般の事情により製造・販売中止	2022年4月出荷停止 ボラキス錠2mgへ変更 3mg錠は院外専用のため後発医薬品のままです
2	ミルラクト細粒50%	乳糖分解酵素剤 (βガラクトーゼ)	諸般の事情により製造・販売中止	2022年11月販売中止 2023年3月経過措置
3	ランソプラゾール OD錠15mg「日医工」	PPI (ランソプラゾール)	全ロット回収で再開見込みなし	タケキャブ錠10mgへ変更 院外専用でランソプラゾールOD錠は残してあります

6 後発医薬品への切り替え品目について

以下11品目（内服薬5品目、外用薬1品目、注射薬5品目）について、後発医薬品へ変更されることとなりました。なお、切り替え時期につきましては、先発医薬品の在庫状況等勘案しながら品目毎に検討し、順次切り替えていく予定です。具体的な切り替え時期につきましては、品目毎に別途お知らせします。

No.	先発医薬品名		後発医薬品名
1	ラミクタール錠2mg、5mg、25mg	⇔	ラモトリギン錠2mg、5mg、25mg、「トーフ」
2	ベシケアOD錠2.5mg、5mg	⇔	ソリフェナシンOD錠2.5mg、5mg「JG」
3	ヒアレイン点眼液0.1%	⇔	ヒアルロン酸ナトリウム点眼液0.1%「TS」
4	イノバン注100mg	⇔	ドパミン塩酸塩点滴静注液100mg「VTRS」
5	リツキサン点滴静注100mg、500mg	⇔	リツキシマブBS点滴静注100mg、500mg「KHK」
6	ヒルトニン1mg注射液	⇔	プロチレリン酒石酸注射液1mg「サワイ」
7	ノボラピッドフレックスタッチ	⇔	インスリンアスパルトBS注ソロスターNR「サノフィ」

8	メロペン点滴用バイアル0.5g	⇔	メロペネム点滴静注用0.5g「NP」
9	リスパダールOD錠0.5mg 1mg	⇔	リスペリドンOD錠0.5mg、1mg「トーフ」
10	リスパダール細粒1%	⇔	リスペリドン細粒1%「トーフ」
11	リスパダール内用液1mg/ml	⇔	リスペリドン内用液1mg/ml「トーフ」

リスパダール各製剤はメーカーの都合により切り替え不可の状態が継続しているため、切り替え可能になった時点で変更していく予定です。